

【話題提供 1】

「はたらく態度のチェックリスト」の作成

小笠原 拓

(株式会社ドコモ・プラスハーティ)

話題提供1：「はたらく態度のチェックリスト」の作成

どのように態度を育成していくのか？

態度の形成…知識・技能の般化・応用

知識・技能

「わかる」
「できる」



「わかる」「できる」を
繰り返す
＝達成の喜び・意欲

態度

常に「わかる」「できる」状態



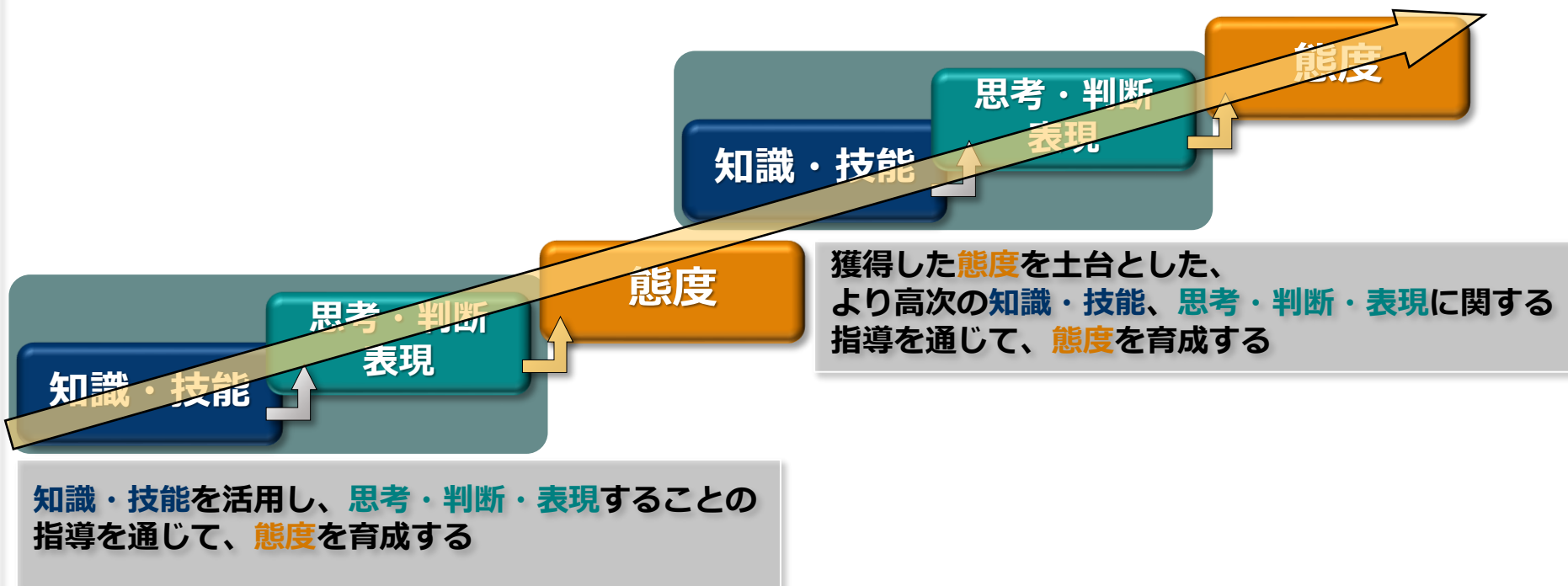
「（いつも）している」

⇒「知識・技能の指導」を通じて、態度を育成する

話題提供1：「はたらく態度のチェックリスト」の作成

どのように態度を育成していくのか？

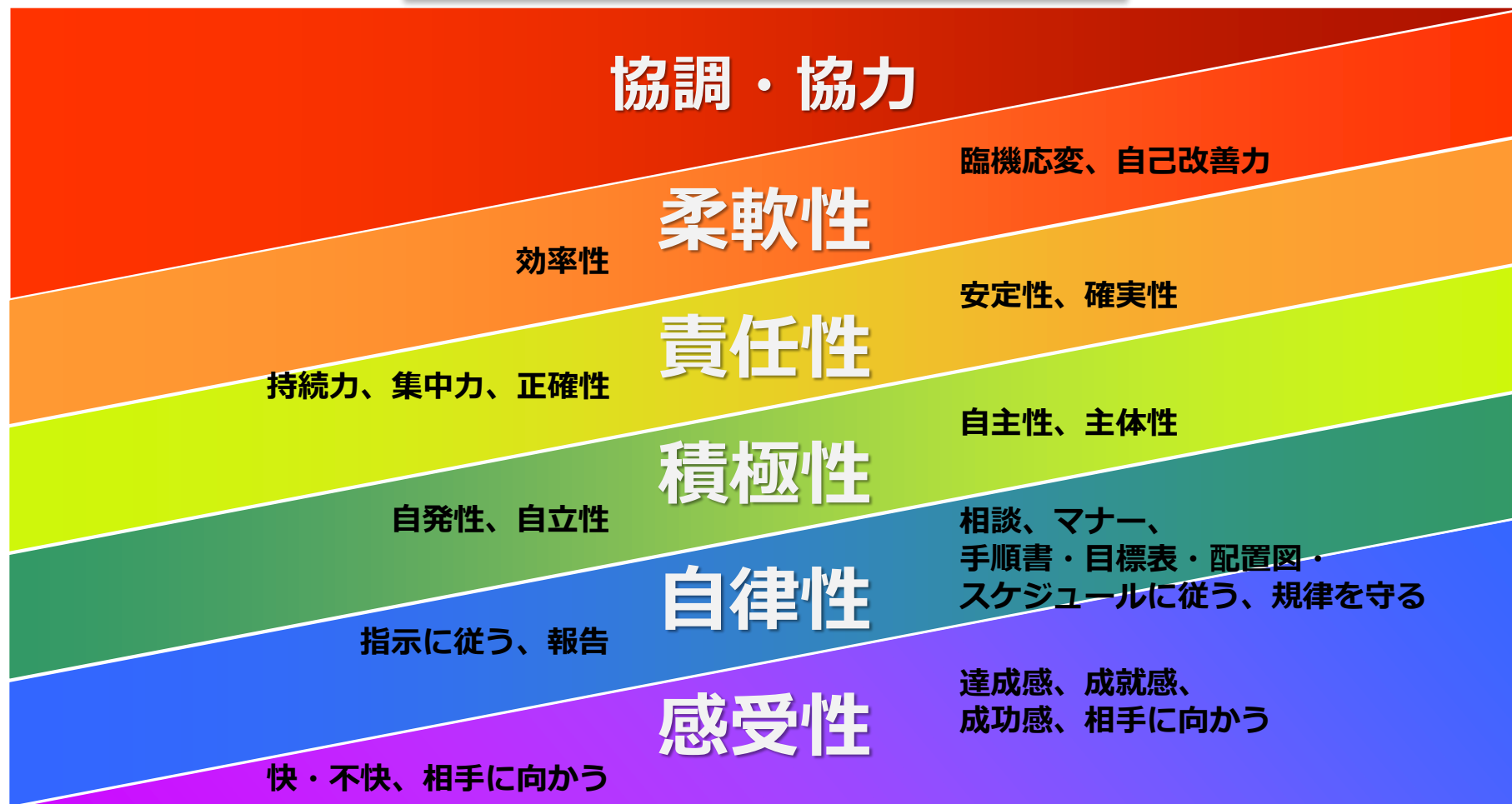
態度の形成…知識・技能の般化・応用



⇒「態度の育成」は難易度により、段階がある
(=段階的に育成することにより、高次の態度育成も可能)

話題提供1：「はたらく態度のチェックリスト」の作成

態度の6領域（菅野,2015）



※6つ領域はそれぞれの領域の難易度から**階層構造**を形成している。

話題提供1：「はたらく態度のチェックリスト」の作成

態度の6領域（菅野,2015）

「階層構造」とは・・・

- * 階層は必然的かつ普遍的な順序性を示す
- * 高次の階層は低次の階層が備える性質を持ちつつ、新たに特有の性質を持つ

➡ 育成すべき「態度」を階層的に整理することで、対象者の実状に応じた、段階的な育成を検討することが可能になる。

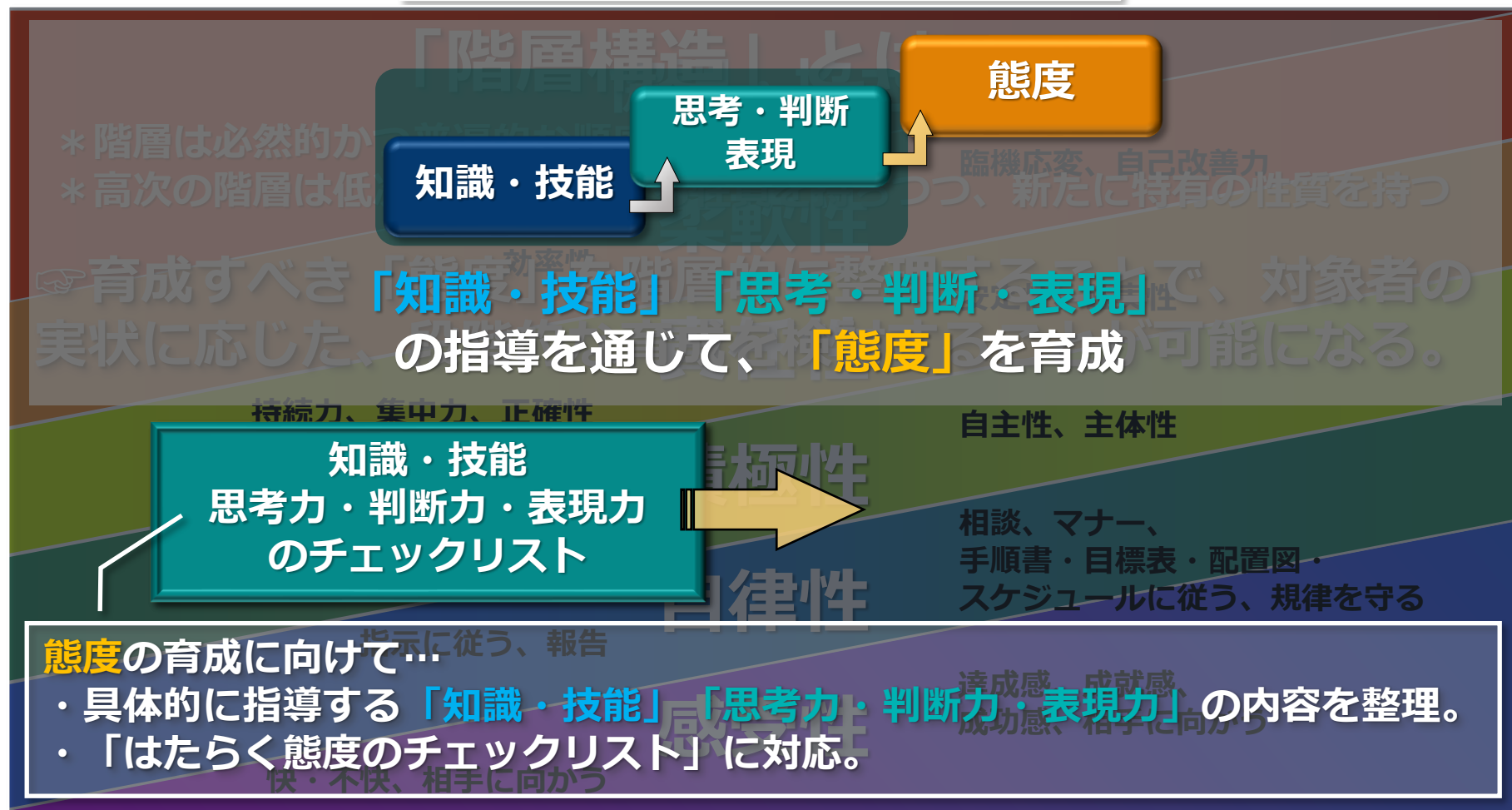
はたらく態度の チェックリスト

- ・「態度の6領域」（菅野, 2015）をもとに作成。
- ・育成の視点づくり（育成すべき態度の具体化）。

※6つ領域はそれぞれの領域の難易度から階層構造を形成している。

話題提供1：「はたらく態度のチェックリスト」の作成

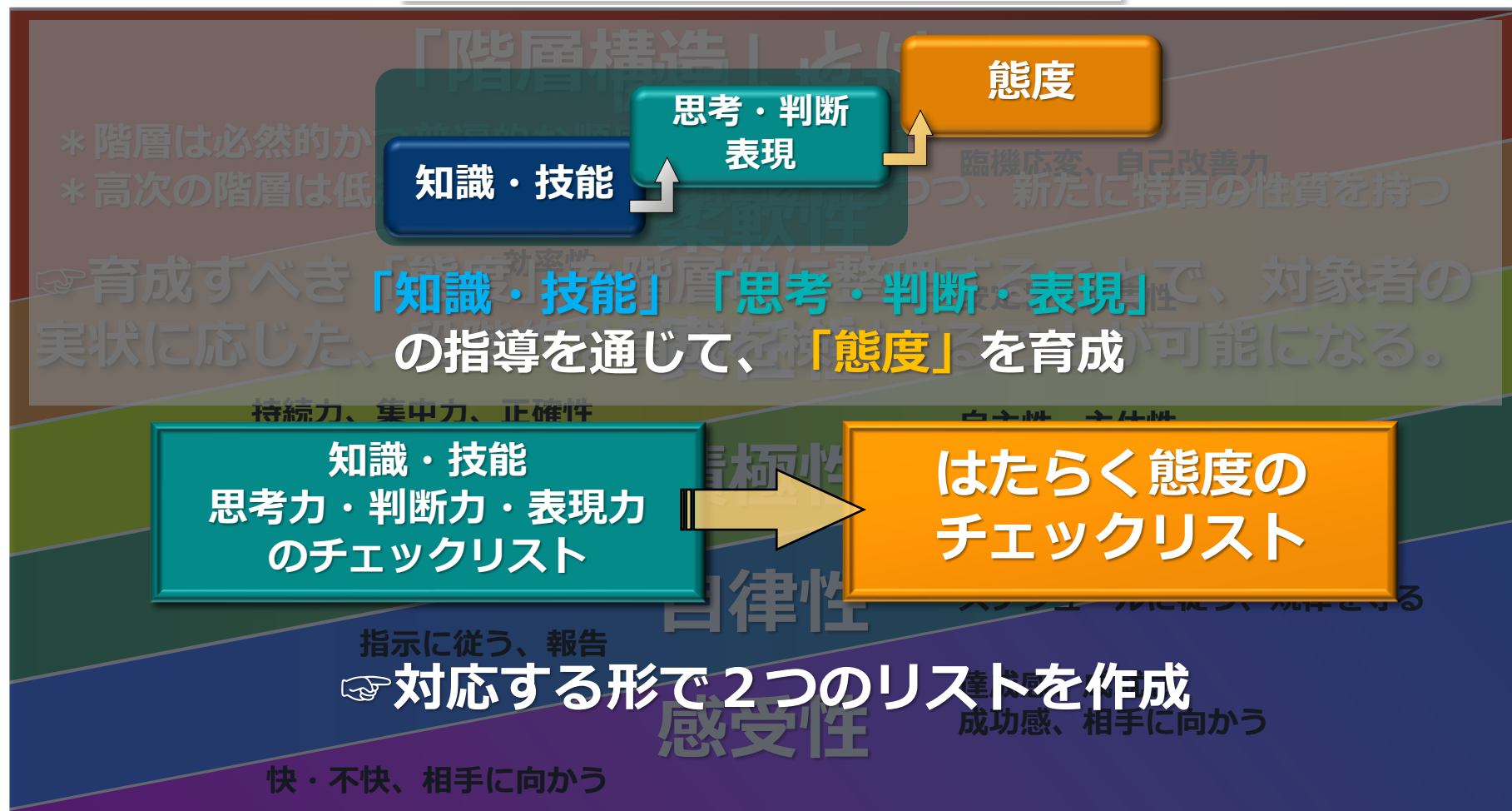
態度の6領域（菅野,2015）



※6つ領域はそれぞれの領域の難易度から**階層構造**を形成している。

話題提供1：「はたらく態度のチェックリスト」の作成

態度の6領域（菅野,2015）



※6つ領域はそれぞれの領域の難易度から階層構造を形成している。

話題提供1：「はたらく態度のチェックリスト」の作成

はたらく態度のチェックリスト

- 
- (1) リストの項目案づくり
 - (2) リストの項目案による予備調査
 - (3) 予備調査の結果を統計分析・考察
 - (4) 「はたらく態度のチェックリスト」を作成

知識・技能、思考力・判断力・表現力のチェックリスト

上記の「態度育成チェックリスト」の項目内容をもとに、具体的に指導すべき「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」の内容を検討する。

話題提供1：「はたらく態度のチェックリスト」の作成

はたらく態度のチェックリスト

(1) 項目案づくり

- * 各階層（領域）の発達の様相の仮説を踏まえた項目づくりを目指す。
- * 幅広い対象者像（幼児期～成人期、重度～軽度知的障がい、発達障がい、精神障がいなど）を想定。

● 先行研究等

- 「**道徳性発達理論**」（Kohlberg, L.）
 - ⇒ Piagetの「**認知的発達理論**」に基づく
 - ⇒ 「**役割取得能力**」（Selman, 1995）の発達段階
- 「**心理社会的発達理論**」（Erikson E.H.）
 - ⇒ 精神分析に基づく「**自我発達理論**」
 - ⇒ ライフサイクルにおける「**発達課題**」を提示

- * 下位領域（「感受性」「自律性」）では、「**自立活動**」の内容を取り入れた。
- * 上位階層（「柔軟性・多様性」「協調・協力」）では、「**コンピテンシー・モデル**」の内容を取り入れた。

- * **精神障がいに対するリハビリテーション**のプロセスを参照した。

話題提供1：「はたらく態度のチェックリスト」の作成

はたらく態度のチェックリスト

(1) 項目案づくり

- * 各階層（領域）の発達の様相の仮説を踏まえた項目づくりを目指す。
- * 幅広い対象者像（幼児期～成人期、重度～軽度知的障がい、発達障がい、精神障がいなど）を想定。

● 先行研究等

◆ 項目案（6領域・139項目）

○ 「 道徳性 」(Konishi, L.) ⇒ Piagetの「 認知発達理論 」に基づく ⇒ 「 役割取得 」(Hall, 1995)の発達段階	・ 感受性	18項目
○ 「 心理社会的発達 」(Erikson, F.H.) ⇒ 精神分析に基づく「 自己発達理論 」 ⇒ ライフサイクル「 発達課題 」を提示	・ 自律性	22項目
	・ 積極性	24項目
* 下位領域（「 自律性 」）では、「 自立性 」を取り入れた。	・ 責任性	18項目
* 上位階層（「 柔軟性・多様性 」「 協調・協力 」）では、「 依存性・モデル 」の内容を取り入れた。	・ 柔軟性・多様性	28項目
* 精神障がいに対するリハビリテーションのプロセスを参照した。	・ 協調・協力	29項目

話題提供1：「はたらく態度のチェックリスト」の作成

はたらく態度のチェックリスト

(1) 項目案づくり

・ 項目案の例

感受性

(個別の対応で) 指導者・支援者に注意を向ける

(集団のなかで) 指導者・支援者のやり方を模倣する

指導者・支援者からの働きかけに応じて、活動に参加する

自律性

指導者・支援者の働きかけに従って、決められたとおりに作業を行う

指導者・支援者の働きかけに従って、スケジュールどおりに行動する

指導者・支援者に対して、適切な言葉づかいをする

積極性

自ら、決められたとおりに分担された作業を行う

自ら、整理・整頓をする

仲間・同僚どうして、適切なふるまいをする

話題提供1：「はたらく態度のチェックリスト」の作成

はたらく態度のチェックリスト

(1) 項目案づくり

・ 項目案の例

責任性

一人で、健康を管理し、安定して作業に参加する

担当業務の完了まで集中・持続して作業を行う

顧客や知らない他者に対して、適切な言葉づかいをする

柔軟性 多様性

担当業務の進捗状況に応じて、優先順位をつけて作業を行う

担当業務に関して、効率性向上の観点から作業方法を改善する

担当業務に関して、自分とは違う意見でも公平に評価し、必要があれば取り込む

協調 協力

所属するチーム全体の作業の遂行にあたり、計画を立て、必要な準備をする

所属するチーム全体の作業の進捗状況に応じて、自らの業務を調整し、応援に入る

異なる意見が出たときに調整をし、より良い解決方法を選択する

話題提供1：「はたらく態度のチェックリスト」の作成

はたらく態度のチェックリスト

(2) 予備調査

【自主シンポジウム2】知的障がい者就労支援における「働く態度」の育成-特例子会社における「はたらく態度のチェックリスト」の活用に向けて-

話題提供1：「はたらく態度のチェックリスト」の作成

態度育成の手順

チェックリストの作成

チェックリストの活用

（領域と重点項目）

ご清聴ありがとうございました